

令和4年度 入学試験結果

Table with columns: 学部 (Faculty), 試験区分 (Exam Category), 募集人員 (Recruitment), 試験日 (Exam Date), 志願者数 (Applicants), 合格者数 (Admitted). Rows include 医学部 (Faculty of Medicine), 歯学部 (Faculty of Dentistry), 薬学部 (Faculty of Pharmacy), 看護学科 (Nursing), 保健医療学部 (Faculty of Health and Medical Sciences).

*昭和大学特待制度合格者…初年度の授業料免除(医・歯学部:300万円、薬学部:140万円、保健医療学部:105万円)



学校法人 昭和大学
発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 千142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円 毎月1回発行

3月号の内容
1面 令和4年度一般入試がスタート
2面 定年を迎える教授の特別寄稿
3面 定年を迎える教授の特別寄稿
4面 渡邊知映教授が第59回日本臨床療学会学術集会で優秀演題賞を受賞

【問合せ先】
【本紙について:総務課大学広報係】
03-3784-8059
press@ofc.shouwa-u.ac.jp
【各種募金・寄付について:企画課】
03-3784-8387
【学事について:学務課・大学院課・入学支援課】
03-3784-8022(旗の台)
0555-22-4403(富士吉田)
045-985-6503(横浜)
03-3784-8026(入学支援課)

令和4年度一般入試がスタート
医学部地域枠選抜入試に茨城県を追加

令和4年度一般選抜入学試験1期が、2月4日(医学部一次)、5日(歯学部・薬学部・保健医療学部)の両日、東京・大阪・福岡の3試験場で行われた。今年度から、大学入学共通テスト利用入試(B方式・地域別選抜)を廃止するとともに、新潟県と静岡県を対象とした医学部の地域枠選抜入試に、新たに茨城県を加わった。また、新型コロナウイルスの蔓延により受験生の行動が制限されたのを考慮して、昨年同様、出願書類審査の点数化による評価を行わないこととした。新型コロナウイルスの感染が急拡大する中、試験場では受験生の体温チェックやアルコール消毒など感染予防対策が徹底された。

医学部

地域枠選抜入試の定員が3県合わせて19名に
医学部の一般選抜入学試験1期は2月4日に一次試験を実施しました。志願者数は2,475名でした。一般選抜入学試験1期は、大学入学共通テストを利用した地域別選抜入学試験を廃止したこともあって、募集定員は82名となりましたが、倍率30・2倍の狭き門となりました。また、新潟県7名、静岡県8名、茨城県4名、各募集定員とした地域枠選抜入学試験の一次試験も併せて実施しました。一次試験合格者に対し、12、13日に二次試験を実施し、14日に合格者を発表しました。二次試験の小論文のテーマは「コロナ禍における子供たちの孤独や閉塞感への対策」、「オンライン診療のメリット・デメリット」でした。一般選抜入学試験2期は3月5日に一次試験、12日に二次試験を実施します。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4月11日に富士吉田キャンパスでの入学式が予定されており、寮生活においてコミュニケーション能力の向上を目指します。令和2年度から開始された新カリキュラムも3年目となります。新カリキュラムでは臨床実習を重視しており、初年次から医療面接、バイタルサイン、身体所見のとり方を学びます。新入生が至誠一貫を体現できる医療人へ成長することを願っています。(医学部長・小風 暁)

歯学部

コロナ禍を乗り越えて
歯学部の一般選抜入試(1期)が2月5日に実施されました。今年度は、オミクロン株の感染者が増大する中で、44名の定員に対して昨年を32名上回る383名の応募がありました。また、大学入学共通テスト利用入試では5名の定員に対して168名、医学部併願入試では3名の定員に113名の志願者数となっており、実施された新設の総合型選抜入試では、定員4名に30名の応募がありました。本年度の入試でも、全てマスク着用と体温測定の上で、熱発者の発生に備えて例年の2倍の監督者数を揃える万全の感染対策が設けられました。微熱や腹痛のため数名が別室受験となりましたが、大きな混乱もなく、受験生の皆様には実力を十分に発揮して頂いたものと思われまます。そして、面接で聞かれた志望動機においては、コロナ禍における口腔の健康の重要性を述べる受験生が数多く見られ、本学のチーム医療の伝統も昨年以上に広く知られていることを実感致しました。今年度合格された新入生

薬学部

コロナ禍でも
志願者数増加
薬学部一般選抜入試(1期)を2月5日に実施し、550名の出願者(前年より115人増)から特待生合格者97人、追加合格者111人を発表しました。4年目を迎えた医学部一般選抜(1期)利用の薬学部併願入試には149人が出願し、このうち55人が二次試験に進み、合格者5人、追加合格者20人を選抜しました。大学入学共通テスト利用入試は287人が出願し、合格者10人、追加合格者54人でした。コロナ禍でもすべての入試で感染予防に十分注意しながら面接試験を実施しました。

保健医療学部

コロナ禍の中、厳重な感染対策で実施
令和4年度の保健医療学部一般選抜入試(1期)および大学入学共通テスト利用入試は、2月5日に五反田TOCを試験場として、コロナ禍の中、厳格な感染管理体制のもと大きなトラブルなく実施されました。一般選抜入試(1期)の志願者は、看護学科284名、理学療法学科50名、作業療法学科7名でした。看護学科の志願者数は昨年度並でしたが、理学療法学科、作業療法学科の志願者は、入試日程変更の影響もあり減少しました。学力試験と面接試験の結果、看護学科41名、理学療法学科16名、作業療法学科2名の合格者(特待生が発表されました。また、大学入学共通テスト利用入試は、看護学科10名、理学療法学科2名、作業療法学科2名の合格者が発表されました。新型コロナウイルス感染症の第六波が猛威をふるい収束の目途がつかない中、医療人に対する期待と感謝の気持ち幅広く伝えられています。医療人になることへの不安を抱えた受験生も多かったと思いますが、この時代に、あえて昭和大学保健医療学部への入学を志してくれた諸君が、本学に入学し、社会に貢献できる医療人の卵としての第一歩を踏みだしてくれることを期待します。(保健医療学部長・下司 映一)



昭和大学医学部 入学試験会場



医学堂書店
品川区 旗の台
電話(03) 3783-9774



(保健医療学部長・下司 映一)